

数 字 の 重 要 性

行方郡統計事務協議会長 小 沼 幸 蔵
麻 生 町 長

常日頃統計調査に従事しておられる方々に心からお礼申し上げます。

足を使い実際に調査した数字が、どんなにか現代の行政、企業あるいは外交にまで役立つているかを思う時、数字の有難さを、ひとしお感じるものです。

また、利用を考えない人にとっては、集めた数字が、どのような組合せによつて統計表ができていのかを考えないで、単なる数字のら列としか写らないであります。

時間と労力をかけた統計表を利用することこそ、私たち為政者に与えられた任務ではないでしょうか。

それにもまして、利用し、活用してこそ、統計調査をまとめたご労苦に報ゆる謝礼でもあります。

それゆえ、生きている統計表が大切に、また机上で作られた統計表では価値がないと思います。

時代は一秒一秒と進んでいます。われわれの生活も一秒ごとに新しく進展しています。

数字も、それに伴つて動いています。また新しい数字が必要になつてきます。

それに人の統計、土地の統計は、開発の基盤となります。人の住むところ、発展はつきまっています。そのもととなる人が動いているのですから数字も当然動かされます。また土地が動けば発展は生長していきます。開発が進めば数字も変わります。それらに遅れてはならない数字が必要になつてきます。

ひとつの調査が終わつたからとして、一段落したのではありません。次の段階の調査に手をつけなければならなくなつているのが現況であります。

例えば、人の動きに伴い、所得の動きも当然変わつてきます。このたび、県の指導で実施した町民所得統計は、市町村独自の統計であると共に、われわれ為政者にとつても、住民福祉サイドからみても非常に大切な数字であると信じます。

住民の富は、自治体に、ただちに、はねかえる時代であるとともに、地方税に表われる影響も大きく、現産業形態の成長・存続・維持、他産業の導入、基盤整備、新都市計画または広域行政圏の施設等考え合わせると、主要財源の確保は住民所得向上の一方的重さにかかつています。この所得統計こそ町村発展のパロメーターといつても過言ではないと信じます。

ただこの年度の統計に終わることなく、次の年度、また次の年度と年を追つて調査していただくよう念願するものであります。

以上、新しい世代に沿つた今後の統計作成に、多大のご努力を願ひ、日頃のご精進に感謝の意を表わし筆をとめます。